

- ⑦ 接種会場においては、接種券の紛失、本人確認書類忘れ、予診票未記入、付添が必要な場合など対応策を準備、アドバイザー職員と記入用の座席の確保など、柔軟な対応をすること。
- ⑧ 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患のある方、車いす利用の方など、地域の医療機関や接種会場までの移動手段としてタクシーの活用など、必要な支援を検討すること。
- ⑨ 車いす利用の接種希望者が集団接種会場で移動の不自由が生じないよう、スロープの用意や幅広い動線の確保、車いす対応トイレへのアクセスなど合理的な配慮を十分に講じること。
- ⑩ 犬などのペットと一緒に接種会場に来訪する場合も想定し、ペットの待機場所を設けるなど事前の準備に努めること。

2 若者関連

コロナ禍における若者世代は就業機会の減少などにより厳しい生活状況、経済状況にあります。将来を担う若者たちへの応援は極めて重要であります。

- ① 若者世代の自殺が急増していることから、LINE 等を活用した相談支援の体制を整備すること。
- ② 困窮する若者世代に「住宅確保給付金」や「休業支援金」等の情報を積極的に周知するために SNS の活用や相談窓口のサイネージ設置を検討すること
- ③ 就労支援相談体制の強化や市の業務においても若者世代を積極的に活用すること
- ④ 若者世代の意見聴取や事業への反映の仕組みづくりを検討、構築すること
- ⑤ 公明党が強く訴え、政府が初めて実施したヤングケアラーの全国実態調査や、市川市議会においても令和2年12月定例会で明らかとなった厳しい実態を踏まえ相談支援体制を強化すること。

3. 経済対策

千葉県感染拡大防止対策協力金の対象となっていない事業者に対し、市独自のコロナ対策支援金制度の創設を速やかに検討すること

以上